

Alma のレコードのバッチへの変更の適用 (ジョブ)

Alma のジョブに関するトレーニングセッションへようこそ 前のセッションでは、Alma でレコードのバッチを作成する方法を学びました これは「セット」と呼ばれます

セットを作成する主な理由は、レコードを一括で処理するため、または自動化されたプロセスでグローバルタスクを実行するためです

ジョブがどのように機能するか見てみましょう

Alma の[アドミン]メニューから、[ジョブを実行する]を選択します

役割によっては、このリストにかなりの数のジョブが表示される場合があります

下部にあるページのリンク、上部にある 3 つのフィルター、または 概要説明や名称で必要なジョブを検索することができます

この例では、物理的アイテムを撤回するジョブを選択します

このジョブは機関ゾーンを最新の状態にするために、アイテムを削除して、実際に所蔵にあるアイテムのみを表示します

[次]をクリックして、ジョブウィザードの 2 番目のステップに進みます

次に、このジョブで使用するセットを選択します セットは事前に作成する必要があります

セットのリストには、ジョブに該当するセットのみを表示します

今回、物理的アイテムと物理的書誌です

Alma は他のコンテンツタイプのセットを表示しません これはアイテムの撤回ジョブが物理的アイテムのみを処理するためです

また、Alma は非アクティブなセットを表示しません そして、他の人にプライベートなセットを表示しません

あなた自身のプライベートセットとあなたの機関内で公開されているセットを表示します

必要なセットを選択して、[次]をクリックします。

このセットに含まれるメンバー数を知らせるメッセージがポップアップ表示されます

次に、さまざまなタスクパラメータを選択します

各ジョブには選択する必要のあるパラメータがあります

このトレーニングセッションでは、多数ある利用可能なジョブのパラメータについては説明しません そのため、パラメータの目的がわからない場合は [ヘルプ]メニューから [このページのヘルプ]を選択してください

マニュアルページには、ジョブとそれに関連するパラメータのリストが記載されています

では、Alma に戻り、このジョブのパラメーターを選択して、[次]をクリックします

ジョブによっては、ジョブウィザードにさらに多くの手順とパラメータを入力する場合があります

しかし、最後はすべてをレビューして確認するページに到達します

必要に応じて、戻って変更することもできます

ここで、ジョブ名を変更することもできます

デフォルトの名前は、ジョブの名前セットの名前、日付と時間を組み合わせたものです

そのままにすることも、別の名前に変更することもできます

ジョブの進行状況を監視している時に見つけやすいようになります

すべてを希望どおりに設定したら、[送信]をクリックします

ジョブの確認を求めるポップアップメッセージが表示されます

ここで[確認]をクリックすると、このジョブで行われた変更を元に戻すことはできません

Alma は、[ジョブを監視する]ページに移動します

ちなみに、いつでもこのページにアクセスできます

[アドミン]メニューを選択し、[ジョブを監視する]を選択します

[実行中]タブには、現在実行中のジョブが表示されます

始めたばかりのものだけでなく、現在実行中のものも含まれます

現在実行中のスケジュール済ジョブもここに表示されます

このページに多くのジョブが表示されていて、希望するものをすぐに見つけることができない場合 [ジョブカテゴリ]フィルターを使用したり、[ジョブ名]または[ジョブの詳細]で検索できます

ジョブがすぐに終了する場合は、[実行中]タブには表示されません

[履歴]タブに切り替えると、実行されたジョブを確認できます

[履歴]タブには何百ものジョブがある可能性があるため このページでは、完了したジョブを見つけるため役立つフィルターがいくつかあります

例えば、デフォルトでは、このページには直近で実行されたジョブのみが表示されます

日付範囲を変更することで以前に完了したジョブを表示できます

フィルターを使用して、特定のジョブカテゴリまたは特定のステータスのジョブのみを表示できます

中止、完了などです

ちなみに、ジョブが完了すると E メールが届きます

これは、時間がかかるジョブに役立ちます

ジョブの名前をクリックすると、ジョブレポートが表示されます

ジョブレポートには、ジョブに関する情報を、またはジョブが完了したかどうか等々、提供されます

一部のジョブでは、重要なアクションを強調するイベントレポートも提供されます

ジョブが正常に完了したか 実行中に発生したエラーに関する情報などです

[ジョブを監視する]ページに戻った際、[スケジュール済]タブに気付いたかもしれません

スケジュール済ジョブは、定期的なスケジュールで自動的に実行されるジョブです

毎日または週に 1 回など、セットを作る必要がありません

これらのジョブのほとんどは、あなたの機関が直接管理することはできません

これらは、Alma の実装中に設定されます

Ex Libris スタッフのみが変更できます

ただし、アクションメニューを使用することでいくつかのジョブを今すぐ実行できます

また、このジョブの実行履歴を確認したり ジョブが完了するたびに特定のスタッフに通知するように設定することもできます

[実行中]タブと[履歴]タブに表示されるもう 1 種類のジョブがあります

ワークフロージョブです

これは、あなたの機関の誰かが

Alma で特定のタスクを実行するときのジョブです

たとえば、発注書を送信すると、Alma は自動的にジョブを実行して、その発注書をベンダーに送信します

ワークフロージョブは、ここで設定した手動ジョブではありません また、事前に設定されたスケジュール済ジョブではありませんが、[ジョブを監視する]ページに表示されます

具体的なジョブ内容や必要なセットについてはユーザー管理、フルフィルメント、受入、リソースに関するトレーニングで詳しく説明しています

以上が、ジョブを使用して Alma のレコードに変更を加える方法の一部でした